

【様式】

平成28年度 学校マネジメントシート

学校名 ( 三重県立あけぼの学園高等学校 )

1 目指す姿

(1) 目指す学校像	○生徒一人ひとりが、あけぼの学園高校の生徒として「自信と誇り」を持ち、地域に貢献し地域から信頼される学校
(2) 育みたい生徒像	○授業に真剣に取り組み、部活動や資格取得にも積極的にチャレンジし成果をあげる体験を重ねて達成感、やりがい、自尊感情を高め、「自信と誇り」を持っている。 ○制服をきちんと着こなし、ピアス等の装飾品は身につけず、頭髪も含め高校生としてふさわしい身だしなみを整えている。 ○登下校時に交通ルールやマナーを守り、相手の目を見て挨拶し規律ある行動や、地域に学び貢献に努める取組等により、地域から信頼を得ている。 ○多様性を尊重して他の生徒に寛容な態度で接し、かつ共通の課題に対し協力して取り組んでいる。
(2) ありたい教職員像	○目指す学校像の実現に向け、「誰のため」「何のため」の学校かを常に意識して、チームの一員として自校の存在価値を高めている。 ○授業を大切に学力向上を図るとともに、生徒の小さな成長の積み重ねに力を注ぎ、その成長を目にすることを自らの喜びとし、自らも成長しようとしている。 ○生徒及び教職員相互の多様性を尊重して寛容な態度で接し、かつ学校の抱える課題に協働して取り組んでいる。 ○様々な形で積極的に地域と連携・貢献し、地域とともに魅力ある学校づくりに取り組んでいる。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>&lt;生徒&gt; ○わかる授業、部活動の充実、安全・安心で楽しく充実した高校生活</p> <p>&lt;保護者&gt; ○安心して楽しく過ごすことができる学校生活、学力向上・進路実現</p> <p>&lt;中学校&gt; ○中学校に対する理解、多様な生徒の受け入れ、生徒個々への丁寧な指導と進路実現</p> <p>&lt;地域社会&gt; ○学校・地域の連携強化、地域振興・活性化、学校の情報提供、地域の担い手育成 ○基礎学力、体力、コミュニケーション能力や社会的マナーを身につけた人材の育成</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<p style="text-align: center;"><b>連携する相手からの要望・期待</b></p> <p>&lt;保護者&gt; 安全・安心な学校 基礎学力の定着、進路実現</p> <p>&lt;中学校&gt; 丁寧で親身な指導 多様な生徒の受け入れ 生徒一人ひとりの進路実現 学校の情報提供</p> <p>&lt;地域社会&gt; 地域の担い手育成 社会的マナーを身につけた人材育成 地域行事などへの参加と地域貢献 学校の情報提供、開かれた学校づくり コミュニケーション能力の向上</p>	<p style="text-align: center;"><b>連携する相手への要望・期待</b></p> <p>&lt;保護者&gt; 学校の指導方針への理解・協力・連携 学校行事への参加と助言</p> <p>&lt;中学校&gt; 教育活動の相互理解 生徒同士の交流と教職員間の連携 学習習慣の涵養 基礎学力の定着 目的意識の向上</p> <p>&lt;地域社会&gt; 地域の子どもたちが本校への入学を希望 学校行事への参加と助言 教育活動への理解と協力 本校への求人確保とその増加 インターンシップの受け入れと協力</p>

(3) 前年度の学校関係者評価等		<p>○生徒たちが熱心に頑張っている様子が新聞や地域情報誌、ケーブルテレビ等で紹介されて大変嬉しい。継続して情報発信してもらいたい。</p> <p>○「美容」の取り組みは、昨年度「高校生美容室」開設、今年度は伊賀市とのシャンプー・トリートメントの共同開発と続き、今後に大いに期待する。</p> <p>○「黒豆」の活動を地域の人たちと一緒にしたり、「地域開放パソコン教室」で生徒たちが地域の人たちに教えたりしていて、大変評判が良い。</p> <p>○地域の方々と様々な交流をしてもらい、大変良い。より多くの生徒が地域交流でいろいろな体験ができるとさらに良い。</p> <p>○学校の評判は一人ひとりの先生の姿を通して広がっていくので、3クラス制で生徒に親身になってくれる先生たちの姿は大変良い。</p>
(4) 現状と課題		<p>○目標を持ち学習意欲のある生徒の他、中学校までの学習段階でつまづき基礎学力が十分に定着していない生徒、家庭環境の厳しい状況にある生徒、特別な支援や配慮が必要な生徒、外国とつながりがあり日本語を苦手とする生徒、規範意識の低い生徒など様々な課題を抱える生徒も見られ、生徒の実態は多様である。</p> <p>○頭髪服装等生徒の「そとみ」の指導を共通の目標に全教職員で取り組み成果をあげている。生徒の様子にも落ち着きが見られ、多くの生徒が授業・部活動等に熱心に取り組み、全校集会での整列・聞く態度にも大きな改善が見られるようになってきている。</p> <p>○全体的に授業に取り組む姿勢や規範意識は向上しつつある。基礎学力やコミュニケーション能力等に課題を抱える生徒も見られるが、進学や就職について真剣に考え学習意欲のある生徒が増えてきている。</p> <p>○卒業生の早期離職や進学後の中途退学を防止し生涯を生き抜くための基礎学力、体力、コミュニケーション能力等の定着・向上が課題である。</p>
		<p>○教職員の本校での勤務年数が比較的短い傾向が見られることもあり、短期的な視点だけでなく、中長期的な視点による取組も大切である。</p> <p>○本校に対する地域のニーズをより確かに把握し、それらを考慮した取り組みと体制作りが必要である。</p> <p>○様々な課題を持つ多様な生徒に対して、保護者・地域・関係機関等と連携を図り、丁寧な教科指導・生徒指導を行っている一方で、勤務時間終了後も遅くまで学校に残り仕事に追われる教職員もいる。教職員が心身ともに健康で、やりがいを持って職務を遂行できる職場環境を構築する必要がある。</p>

### 3 中長期的な重点目標

教育活動	<p>○生徒に基本的な生活習慣の確立や部活動・資格取得等への積極的なチャレンジを促し、基礎学力やコミュニケーション能力・体力を向上させ、生徒一人ひとりの希望進路実現を図る。</p>
学校運営等	<p>○情報発信を積極的に行い、地域のニーズを正確に把握した活動に取り組むことで、学校の活性化や地域貢献につなげる。</p> <p>○学校行事・会議・部活動等の精選・見直しも含め総勤務時間の縮減を図り、教職員が元気にいきいきと職務を遂行することができるよう努める。</p>

#### 4 本年度の行動計画と評価

##### (1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
基礎学力・コミュニケーション能力・体力の向上	(1) 生徒の実態に即した学習指導を工夫し、基礎学力を定着させる。 【活動指標】 授業公開及びテスト前補習を各2回以上実施する。 【成果指標】 レッドカードの件数が昨年度より減少する。	(年度末および適宜記載)	
生徒指導の充実	(1) 「そとみ」の指導に取り組む。 【活動指標】 頭髪服装指導を行い、規律に則った学校生活を励行させる。 【成果指標】 違反総数を昨年度比-15%とする。		
部活動・資格取得の推奨	(1) 生徒自身が学ぶ姿勢を身につけ、積極的に資格取得に挑戦するよう働きかける。 【活動指標】 SHR、LHR、進路行事等を通して、資格取得についての案内やガイダンスを各教科と連携して行う。 【成果指標】 資格取得試験、検定等の受験者が昨年度を上回る。		
キャリア教育の充実	(1) すべての生徒が進路を決定して卒業することを目指す。 【活動指標】 生徒の希望を把握して、就職または進学に向けて指導する。 【成果指標】 すべての生徒が進路を決定して卒業する。		
<b>改善課題</b>			
(年度末に記載)			

##### (2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
情報発信・学校活性化・地域貢献	<p>(1) 人権だよりを発行し、人権に関する話題や情報を提供するとともに、学校での生徒の様子や学習内容等を伝え、家庭での話し合いのきっかけを作る。</p> <p>【活動指標】 生徒及び保護者を対象として人権だよりを発行する。</p> <p>【成果指標】 生徒アンケートの人権に関する数値が昨年度を上回る。</p> <p>(2) 地域への情報発信を効果的に行い、交流を進める中で教育活動の活性化を図る。</p> <p>【活動指標】 学校の活性化や地域貢献につながるよう、報道機関等への情報提供をねらいを絞り、効果的に行う。</p> <p>【成果指標】 地域アンケート(学校評価)で本校の教育活動の理解度が昨年度を上回る</p>	(年度末および適宜記載)	
チームワークの向上・意欲の増進	<p>(1) 教職員のワーク・ライフ・バランス改善の取組を推進する。</p> <p>【活動指標】 定時退校日を月1回以上設ける。年休取得を奨励する。</p> <p>【成果指標】 定時退校日の達成率90%以上を目指す。全教職員の年休取得日数10日以上を目指す。</p> <p>(2) 勤務時間の縮減に加えて、若い教職員が意見を言い、活躍できる機会を提供する。</p> <p>【活動指標】 学校マネジメント委員会から学校改善活動の提案を行う。</p> <p>【成果指標】 教職員の満足度調査(仕事のやりがい)が昨年度を上回る。</p>		
<b>改善課題</b>			
(年度末に記載)			

## 5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
---------------------	----------

## 6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)